

◆編集・発行

茨城県茨城郡茨城町小堤1080
〒311-3192
☎ 029-240-7126
メールアドレス
ibarakit@town.ibaraki.lg.jp

◆人口

住民基本台帳
平成29年5月末現在
男 16,638人
女 16,568人
総人口 33,206人
世帯数 13,018世帯

◆茨城町民憲章

- 1 ふるさとの自然を守り、美しい環境の町をつくりましょう。
- 1 からだをきたえ、教養を高めて、すこやかな町をつくりましょう。
- 1 隣人や家庭の愛を大切に、まごころのかよい合う町をつくりましょう。
- 1 自分の仕事に責任と誇りを持ち、活気に満ちた町をつくりましょう。
- 1 文化遺産を愛護し、先人の努力に感謝できる町をつくりましょう。

◆町の情報発信中!!



●町公式ホームページ

<http://www.town.ibaraki.lg.jp/>



●町公式ツイッター

<https://twitter.com/IbarakiTownMati/>

●町公式Instagram



https://www.instagram.com/townibaraki_official/



里山に育む生きものたち

No.60 ニイニイゼミ

(カメムシ目ゼミ科)
学名 *Platypleura kaempferi* (FABRICIUS)

写真と文 小菅 次男

「夏も近づくと八十八夜」との季節になり、夕方暗くなるとこの写真のような羽化直後のニイニイゼミを発見できるかもしれません。茨城町では最も早く出現し、6月末から鳴き始め、7月に最も多く、8月後半になると少なくなります。

▼芭蕉の俳句のゼミ
体長20〜25mmの小型な種で、全体に渋い黄色褐色の地に緑紋と淡黄色毛があります。芭蕉の句の「静かさや岩にしみ入る蝉の声」とあるのは本種であるとされます。特に、サクラやケヤキを好み、所によって果樹園に大発生する

こともあります。幼虫の地中生活は3〜4年と短い方です。

▼早起き遅寝

夜明けとともに、ヒグラシよりやや遅く鳴き出し、夕方にはヒグラシよりも遅くまで鳴き続け、外灯近くでは一晩中鳴き続けることもあります。

梅雨が明けるころ鳴き出すので、ムギカリゼミと呼ぶ地方もあります。

▼上手な誘い鳴き

鳴き声は「チー」という連続音で、声の強弱を変えながら鳴きます。ところが、メスが近づくと声の調子を変えて、メスを誘う「誘

い鳴き」をします。ゼミの中でこの鳴き方の最も上手なのがニイニイゼミと言われます。オスが「チ・チ・チ・チー」と調子を変えて鳴きながらメスに近づきます。

▼都市では減少傾向

最近、都市周辺では公園等の樹木の生長に従い、ミンミンゼミが増加し、その一方で土壌の乾燥化によってニイニイゼミやツクツクボウシなどの小型種が減少してきています。

ちびっ子アート ひめま保育園



ぼくのだいすきなサメ
おむろ あきと(5歳)



たのしいイルカショー
きむら ここね(5歳)